



市房観光株式会社					
業種	宿泊・飲食サービス業	事業所所在地	熊本県球磨郡水上村	資本金	10,000千円
				従業員数	5名

		被承継者 (左)		
		西 土子	84歳	※承継時
		承継者 (右)		
		西 和人	58歳	※承継時
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係		
2018年	10月	子ども		
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題		
昭和40年開業の敷地内に泉源を有する温泉旅館。主に、登山や観光で同地域に來られるお客様が利用されている。		・既存商品・サービスの売上高の拡大 ・地域経済の落ち込みと旅行形態の変化に伴う売上高の減少。		

事業承継を実行するまで			
きっかけは？		承継計画の立案	
承継実行の	12年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	承継までの不安と準備
父が他界し、母が一人で旅館を切り盛りしていたが、売上げの減少と高齢のため、母一人に任せておくには限界を感じていたため。		それまで場所も仕事も全く異なる仕事（関東でバイオ関連事業の研究開発を行っていた）に就いていたため、自分が取り組むべき旅館の方向性について話し合った。	子育て世代の承継者に引き継ぎ、旅館を、厳しい環境の中で生き残らせることができるかどうかということが最大の不安要因だった。
		関係者との調整	承継者の承継に対する不安
		承継者には初めての仕事内容であったため、取引先や金融機関、業界団体は先代の取引をそのまま引き継いだ。	これまでの仕事とは全く異なる業態であり、個人的には一からの取り組みとなるため、事業を継続させることができるかどうか最大の不安要因だった。


これに一番苦労した！	
地域経済の疲弊やこれまでの旅行者のニーズの変化等による市場変化等が要因で、落ち込んでいた当旅館のビジネスをどのように立て直すか？ 自分なりに納得いく、その戦略および戦術を考え出すのに苦労した。	

事業承継について相談したこと	
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	実家に帰り事業を始めて数年は、事業自体を覚えることに必死で将来的な戦略、戦術はなかなか描けずいた。しかしながら、自分なりに経験を積んだ結果、自分のやりたいことやれること、そして事業の強みの交点でその方向性がある程度固まってきた。方向性が固まると具体的な相談内容も固まってくるため、相談機関の方からの支援も受けやすくなったと感じている。私の場合は、主に地元商工会の指導員の方に事業資金や専門家の紹介等さまざまな相談に乗っていただき、適切なアドバイスを得られて大変助かっている。
いつから相談？	
承継実行の	
相談のきっかけ	
以前から取引やつきあいあり	

新たな取組の標題

郷土料理専門の食事処開業による、新規事業への挑戦

新たな取組の内容	新役務の開発又は提供
<ul style="list-style-type: none"> ● 当地域における旅館経営は相変わらず厳しい状況が続いている。 ● この状況を打開するためには、本業である宿泊業に加えて、地域全体の観光にも注力して地域を活性化する必要があった。 ● そこで、必要とされながらも誰も取り組んでこなかった「郷土料理（山の幸）を気軽に楽しめる食の提供」という事業に新たに挑戦し、地域の観光業とともに当館の発展を目指す。 	
  	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
当地域では地域経済の落ち込みとともに、観光業の衰退も続いている。かかる状況を打開するためには、地域資源を活かす政策が必要であるが、その中でも食は非常に重要な要素の一つである。当事業においてお客様に提供する「郷土料理（山の幸）」を当地域を代表する料理の一つとして広めることができれば、当地域の観光業に多大な貢献をできると考えている。	 <p>■ 設備費</p> <p>経費の主な使い道 設備費（ダイニングルーム設置改修工事、ウッドデッキ設置工事費等）</p>
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容	
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案
<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
本事業の事業内容の説明および、事業の申請書および報告書作成にあたり、適切な助言と書類の確認を行っていただきました。	

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	今後、食事処の開店準備および昼食メニューの試作を行い製造工程を確立し、2019年7月頃食事処オープン、昼食メニュー「山の幸プレート」の提供を開始する。その後、年間を通して四季折々の旬の食材を取り入れたメニューを提供し、毎月メニューを更新する。さらに、メニュー項目別や月別の売上げ実績およびお客様の声を参考にしながら、新たなメニュー（パスタ、天ぷら、鍋物等）の開発および製造工程の確立を継続して行い売上げ増を目指す。
売上高	60 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
地域で事業を行う皆さんは、事業承継者を確保することが困難な時代だと思います。しかしながら、これまで事業を行ってきた皆さんには、必ず事業の強みがありそれを活かす方法があります。諦めずに、必ず事業を誰かにバトンタッチすると決めて前向きに取り組めば必ず道は開けるのではないのでしょうか？	承継した事業をどう継続させ、さらに発展させるかは自分自身で答えを出すしかありません。自分で決める事ができる分遣り甲斐がありますので、最初は大変でも事業を楽しむことができるまで行動する必要があります。事業方針を決める際は、自分で腑に落ちる答えが見つかるまでとことん考えぬけば、その後の荒波をぐり抜けることができると思います。